（郵便局認可）　第千四百九拾號　時事新報　日曜日休刊（定價三錢）

時事新報

（日曜日ハカリ休刊）

時事新報定價
一枚金三錢〇一箇月前金一圓八十錢〇六箇月前金三圓四十錢〇一箇年前金六圓五十錢〇郵便稅一箇月金廿六錢一箇年金三圓十二錢〇左ニ掲グル各地ニ於テハ郵便無料ニテ配達致候
東京　横濱　横須賀　從浦賀川至小田原　藤沢　根岸　大阪
京都　大津　神戸　尼ノ崎　西宮　笠岡　岡山　廣島
和歌山　徳島　高知　下ノ關　名古屋　敦賀　岡崎　蒲郡
四日市　津　松坂　山田　仙臺　福島　二本松　石ノ巻
函館　青森　弘前　宇都宮　高崎　八王子
其他廣告取扱所並郵便逓送ノ便宜アル各府県ハ同レタル郵便料ニテ申受候

時事新報廣告料（前金）

一行廿四字詰	一日限	二日以上 十五日迄	七日以上 十五日迄	十六日以上 十日迄	廿一日以上
自一行至三十行	八錢	七錢	六錢	五錢	四錢
自十一行至三十行	七錢	六錢	五錢	四錢	三錢
自廿一行以上	六錢五厘	五錢五厘	四錢五厘	三錢五厘	二錢五厘

（日曜日ハカリ休刊）
一箇月前金一圓八十錢〇六箇月前金三圓六十錢〇一箇年前金六圓五十錢〇郵便稅一箇月金廿六錢一箇年金三圓十二錢〇左ニ掲グル各地ニ於テハ郵便無料ニテ配達致候
東京　横濱　横須賀　從浦賀川至小田原　藤沢　根岸　大阪
京都　大津　神戸　尼ノ崎　西宮　笠岡　岡山　廣島
和歌山　徳島　高知　下ノ關　名古屋　敦賀　岡崎　蒲郡
四日市　津　松坂　山田　仙臺　福島　二本松　石ノ巻
函館　青森　弘前　宇都宮　高崎　八王子
其他廣告取扱所並郵便逓送ノ便宜アル各府県ハ同レタル郵便料ニテ申受候

時事新報廣告料（前金）

一行廿四字詰	一日限	二日以上 十五日迄	七日以上 十五日迄	十六日以上 十日迄	廿一日以上
自一行至三十行	八錢	七錢	六錢	五錢	四錢
自十一行至三十行	七錢	六錢	五錢	四錢	三錢
自廿一行以上	六錢五厘	五錢五厘	四錢五厘	三錢五厘	二錢五厘

明治十八年八月廿四日（月曜日）
書乙酉七月十五日　かのとゐ

月入午前三時三十分
月出午後五時十八分
朔午後四時五十分
朔午後五時十一分

（西暦一千八百八十五年）

時事新報

金融逼迫（本月十四日の續）

梅雨逼日池の水の溢るゝ時は際しては早く堰の唐戸を開いて水をはかさゝるべし必ず堤を破り田地を流し非常の損害を爲すあるとなりん此時は少しにても澤山に水を減して洪水汎濫の災を避るは甚だ適當れ處置たるあり然れども梅雨既に收まり土用の日熱くなて世間旱魃に苦しむの時は當りて い堰の唐戸を開くべうふざるは勿論一勺の水にても無益に池を流れ出ざるやう粘土にて隙間と塞き置りざれば永く池の四方に潤澤を及ぼして草木は生々を助くること六ヶ敷かるべき故に池は唐戸は時ありてみをを開かざるべからず又時ありてこをを閉ぢざるべからず世に五年は間開き詰めの唐戸もなく又閉ぢ詰めの唐戸もあきものと知ふざるべうらず今日本の經濟の有様を見るに六七年前紙幣の濫行したるい梅雨時節池は水の溢るゝたるが如し此時に當り理財者の策い一圓あても紙幣と減ずて通貨の價格と正當の地位に復ちたるは在り然れども紙幣既に大に減して全國の農工商社會最早一滴の潤澤をも留めざらんとするの時に當り倘は紙幣と減して全國通貨の高を少なくせんとすれば旱魃に池の唐戸と開き置くの類にて當と得たるの感覺と申すべからず昔しい昔しなり今い今あり昔しにとかりしとて今も倘は其事と續けんとするは誠に無謀の逆と云ふべし我輩が紙幣の年々減ずると見るは決して私の誤とを見、中山道鉄道公債賣上金の庫中に貯蓄すると見、預金所の新設と見なして大に不愛敬の感を爲し今の不景氣と却て益刺戟を增して遂に不治の重症に陥ることなきやと疑ふも決して無稽の忍配にあらざと信ずるなり我輩の考に依れば本年度九箇月間に紙幣三百五十萬圓を減却せんなきいふ類の事は全く止めにしく夫れよりは却て今の通用貨幣の流通の高を增加して漸く世間の金融を潤かにし不景氣退治の策と運らずこと誠に肝要るらんと思ふるゝあり左に其一策云ふはん

外國債を導りてこをを日本全國の鉄道賣金に下すの工風を賢く見合せ內國債の小規模にて更に一策を巡すの民間有力者の政府の國庫あと四千六百萬圓の準備金あり今此金を使用して不景氣退治の工風を運らしい如何や勿論紙幣增發中に以金銀貨幣を取りて我々の欠しく希望し所る紙幣交換の準備金も必ず其大部分と占め居ることとならんといへども今日は當り紙幣交換の準備金と譯由に換ふ置くは格別其用なきが如し政府は來年一月より漸次に紙幣を銀貨に交換せべしと布告しあれども來年を俟つに及ばず今月今日より始めさりとて何も不都合はあるまじと思はる目下銀貨と紙幣との間には殆んど價の差異なし試に紙幣の代りに銀貨を與へんといふ誰ゝこれを貰ひに來るべきや重き銀貨よりも輕き紙幣の方却て便利なりと知る以上は道理に於ても人情に於ても先つ紙幣の方を好むならん左すれば外國貿易用の爲め實際銀貨の入用ある人等と除くの外は決して交換所に來りて銀貨と買ふ者なのるべきや如何と聞くに內貿易用ふ銀貨の入用甚だ多かるべきや如何と聞くに內國の物價下落して輸出物い增し全社會疲弊して西洋品を消費すること少なきがゆゑに輸入物は減ずる今の貿易の釣合ふ於ては外國より貨幣の輸入する傾きはあれども內の貨幣が外ふ出る樣子は更にふし外國貿易上日本より貨幣の輸出を要せざる限りい貿易商人といへども態〳〵紙幣を銀貨に交換せんとする如き偏人もなからん故ふ紙幣交換と今月今日より始めたりとするも銀貨の準備は誠に僅少の高ふて十分ふ間に合ふことならん併し夫ふてもまだ甚だ不安心あり紙幣引換の準備金と多き上ふも多くなかるべうらずといふ人ありば念れ爲先今月今日より實際に紙幣と銀貨とと引換へ見るべし若し我輩の說ふ反し四千萬の銀貨忽ち國庫より溢出し又日本より流出することならば其時は此準備金使用の事を全く思ひ止まりさへすれば夫れまて何も問題は起らざるなり若し又我輩の說れ通り紙幣引換と雖ども若少なき時い果して紙幣引換の準備金を澤山に要せざる證據に付安心しく不景氣退治用の爲めふ出金すると得べし慕れ誠ふ道理明白の實驗法なり此實驗法にても尙は不安心なりと疑ふ人あらば我輩は萬一の變に應ずるふは內外國債の法ありて數千萬の金は瞬間ふして辦することと得べきが故に決して無用の忍配の爲めに國の利益とも顧をざる如き拙策を働くことなかれと云はんれみ兎にも角ふも準備金使用の事は決して大なる差支なきものに相違あからん

サテ今此所ふ準備金より取出したる二三千萬圓は金ふ流れ出ざるやう粘土にて隙間と塞き置りざれば永く池の四方に潤澤を及ぼして草木は生々を助くること六ヶ敷かるべき故に池は唐戸は時ありてみをを開かざるべからず又時ありてこをを閉ぢざるべからず世に五年は間開き詰めの唐戸もなく又閉ぢ詰めの唐戸もあきものと知ふざるべうらず今日本の經濟の有様を見るに六七年前紙幣の濫行したるい梅雨時節池は水の溢るゝたるが如し此時に當り理財者の策い一圓あても紙幣と減ずて通貨の價格と正當の地位に復ちたるは在り然れども紙幣既に大に減して全國通貨の高を少なくせんとすれば旱魃に池の唐戸と開き置くの類にて當と得たるの感覺と申すべからず昔しい昔しなり今い今あり昔しにとかりしとて今も倘は其事と續けんとするは誠に無謀の逆と云ふべし我輩が紙幣の年々減ずると見るは決して私の誤とを見、中山道鉄道公債賣上金の庫中に貯蓄すると見、預金所の新設と見なして大に不愛敬の感を爲し今の不景氣と却て益刺戟を增して遂に不治の重症に陥ることなきやと疑ふも決して無稽の忍配にあらざと信ずるなり我輩の考に依れば本年度九箇月間に紙幣三百五十萬圓を減却せんなきいふ類の事は全く止めにしく夫れよりは却て今の通用貨幣の流通の高を增加して漸く世間の金融を潤かにし不景氣退治の策と運らずこと誠に肝要るらんと思ふるゝあり左に其一策云ふはん

外國債を導りてこをを日本全國の鉄道賣金に下すの工風を賢く見合せ內國債の小規模にて更に一策を巡すの民間有力者の政府の國庫あと四千六百萬圓の準備金あり今此金を使用して不景氣退治の工風を運らしい如何や勿論紙幣增發中に以金銀貨幣を取りて我々の欠しく希望し所る紙幣交換の準備金も必ず其大部分と占め居ることとならんといへども今日は當り紙幣交換の準備金と譯由に換ふ置くは格別其用なきが如し政府は來年一月より漸次に紙幣を銀貨に交換せべしと布告しあれども來年を俟つに及ばず今月今日より始めさりとて何も不都合はあるまじと思はる目下銀貨と紙幣との間には殆んど價の差異なし試に紙幣の代りに銀貨を與へんといふ誰ゝこれを貰ひに來るべきや重き銀貨よりも輕き紙幣の方却て便利なりと知る以上は道理に於ても人情に於ても先つ紙幣の方を好むならん左すれば外國貿易用の爲め實際銀貨の入用ある人等と除くの外は決して交換所に來りて銀貨と買ふ者なのるべきや如何と聞くに內國の物價下落して輸出物い增し全社會疲弊して西洋品を消費すること少なきがゆゑに輸入物は減ずる今の貿易の釣合ふ於ては外國より貨幣の輸入する傾きはあれども內の貨幣が外ふ出る樣子は更にふし外國貿易上日本より貨幣の輸出を要せざる限りい貿易商人といへども態〳〵紙幣を銀貨に交換せんとする如き偏人もなからん故ふ紙幣交換と今月今日より始めたりとするも銀貨の準備は誠に僅少の高ふて十分ふ間に合ふことならん併し夫ふてもまだ甚だ不安心あり紙幣引換の準備金と多き上ふも多くなかるべうらずといふ人ありば念れ爲先今月今日より實際に紙幣と銀貨とと引換へ見るべし若し我輩の說ふ反し四千萬の銀貨忽ち國庫より溢出し又日本より流出することならば其時は此準備金使用の事を全く思ひ止まりさへすれば夫れまて何も問題は起らざるなり若し又我輩の說れ通り紙幣引換と雖ども若少なき時い果して紙幣引換の準備金を澤山に要せざる證據に付安心しく不景氣退治用の爲めふ出金すると得べし慕れ誠ふ道理明白の實驗法なり此實驗法にても尙は不安心なりと疑ふ人あらば我輩は萬一の變に應ずるふは內外國債の法ありて數千萬の金は瞬間ふして辦すること